

第3回第二次小平市のスポーツ振興の基本方針 策定検討委員会

会議要録

日時 平成28年7月22日（金）

午後3時00分から

会場 福社会館3階会議室

○出席委員

1	中村 平	東京女子体育大学体育学部 教授
2	澁谷 茂樹	公益財団法人 笹川スポーツ財団
3	高山 浩久	公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
4	小倉 悟	小平市社会福祉協議会
5	星野 実	小平第二中学校 学校長
6	荒武 宗昭	一般社団法人 小平市体育協会
7	尾崎 信幸	スポーツ推進委員
8	阿部 仁	公募市民
9	後調 正則	公募市民
10	佐藤 恵子	公募市民
11	椎名 久美子	公募市民
12	夏秋 利恵	公募市民
13	渡辺 仁	公募市民

○欠席委員

山田 正樹 小平第十小学校 学校長

○事務局 地域振興部文化スポーツ担当部長
スポーツ振興担当課長
スポーツ事業推進担当係長

○傍聴者 0名

○委託事業者 2名

○議事 1 基本方針の検討資料について

1 開会

文化スポーツ担当部長があいさつを行ったのち、第2回検討委員会で欠席となった委員より自己紹介とあいさつが行われた。

事務局から配布資料の確認等が行われたのち、議事が進められた。

議事（１） 基本方針の検討資料について

スポーツ振興担当課長が、資料1を用いて、基本方針の検討資料の第1章について説明を行った。

委員長 第1章について、何か意見はあるか。

委員A 2点ある。P.4の「5. 本基本方針におけるスポーツの意義」の文章の中で、地域で日常的にスポーツ指導に取り組みスポーツを「支えている」人についても記載があるとよい。また、「6. 基本方針策定に関わる視点」の中で、障がいのある「方」となっているが、特別扱いをせずに「障がいのある人」という文言にしてはどうか。

委員長 「5. 本基本方針におけるスポーツの意義」の文章は加筆してほしい。「障がいのある人」という文言について、ご意見はあるか。

委員B 特別に丁寧な表現とせず「障がいのある人」という文言でよいと思う。
事務局 第1章の構成はこれでよいか。また、P.4の表現の修正について、事務局で修正してよいか。

委員長 異論がないようなので、事務局で進めていただきたい。
P.4の「5. 本基本方針におけるスポーツの意義」の見出しについて、「5. 本基本方針におけるスポーツの捉え方」といった表現に変更してはどうか。現在の文章では「意義」というところまで表現されていないと感じる。

事務局 「5. 本基本方針におけるスポーツの捉え方」といった表現への変更を検討する。

委員長 P.4「6. 基本方針策定に関わる視点」に掲げられている視点の並び順は意図があるのか。

事務局 現時点での案として記載しており、順序に明確な意図はない。

委員長 「地域スポーツの推進」は「障がい者スポーツの振興」の後に移してはどうか。

事務局 検討する。

続いて、スポーツ振興担当課長が資料1を用いて、基本方針の検討資料の第2章について説明を行った。

委員長 第2章について、何か意見はあるか。

委員A P.7（2）スポーツ振興事業（大会・イベント）について、開催日等の実

	<p>績が記載されていると資料としてより価値が高まるのではないかな。また、P. 8の学校施設スポーツ開放について、個人開放、夜間照明、武道場の有無など、詳細が記載されているとよいのではないかな。</p>
委員C	<p>P. 7 (3) スポーツ教室等の実施にある「市民体育祭（体育協会加盟団体による競技会）など」は(2)スポーツ振興事業（大会、イベント）に移動してはどうか。(4)スポーツを支える人、クラブ及び団体の体育協会加盟団体の表は、番号をふるか、または「(加盟順)」という表記を削除してもよいと思う。</p> <p>P. 14 (2) 小平市のスポーツ振興の基本方針の取り組み状況について、現行の方針策定以前から進められている施策もある。進捗状況の記載方法を再検討してはどうか。</p> <p>P. 15 の5. 小平市のスポーツ振興の取り組みと課題の課題案2について、人財の中には、人だけでなく団体や組織も含まれると考えている。文章の表現をわかりやすく整理できるとよい。</p> <p>P. 16 の課題案3では、「○歩行者や自転車利用者を大切にしたい道路空間の確保」という項目があるが、これはスポーツ分野の課題として捉えられるのか。</p>
事務局	<p>P. 14 (2) 小平市のスポーツ振興の基本方針の取り組み状況は現行の方針に掲げられた施策を元に記載している。P. 15 の課題案2の表現と合わせて伝わりやすい表現を再考する。P. 16 の課題案3に記載した「○歩行者や自転車利用者を大切にしたい道路空間の確保」は、現在策定中の都市計画マスタープランとの関わりの中で案として記載している。直接的な関わりは薄いですが、今後も分野をまたいでまちづくりに寄与していけるとよいと考えている。</p>
委員D	<p>P. 15 の課題案2の実績の文章は、障がい者スポーツの指導者セミナーを開催することが誰もがスポーツに親しめる環境づくりと読めてしまう。もっと様々な実績があるので、それを記載してはどうか。P. 17 の課題案5にある「地域づくり」とはどういうことをイメージしているのか。備品の貸し出しだけではなく、その結果、地域の交流やコミュニケーションを生み出すことが目的ではないか。課題案6では、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に際して練習場や選手の宿泊所の誘致など、気運醸成に向けた具体的な取り組みについて課題を掲げられるとよいのではないかな。</p>
事務局	<p>P. 15 の課題案2は、文章を再考する。P. 17 の課題案5にある「地域づくり」は、意見の通り、備品の貸し出しを通じて地域の交流やコミュニケーションを生み出すことを目的としている。課題案6のご意見については、小平市内に競技会場はなく、誘致も課題だとは思いますが現状実績としてあげられるものがなく、こういった表現になっている。</p>
委員D	<p>この方針にどこまで書けるかはわからないが、2020年東京オリンピッ</p>

ク・パラリンピック開催に向けて、具体的にどのように気運を高めていけるかを考えていただけるとよい。

委員長 備品の貸し出しを通じて地域の交流やコミュニケーションを生み出すということであれば、町会・自治会の運動会も実績といえるのではないか。

事務局 報告書などでの記録がないため、企画書等の使用申請時の件数を元に実績としている。

委員長 そういった取り組みの開催結果もあれば、より実態に即した実績が把握できる。

委員 E 市内のウォーキングのイベントなどは、地域の人と人をつなぐ役割を果たしていると感じている。こういった取り組みについても、記載されているとよい。

事務局 駅伝や社会福祉協議会の取り組みについても加筆する。

委員 F 市の取り組み以外にも、民間や市民の独自の取り組みもどこかでふれられるとよい。この方針を読んだ市民が「これだけしか取り組みがない」と思わないようなものにしたい。

委員 B 小平市社会福祉協議会でも取り組んでいるボッチャは地域づくりの役割を果たしていると感じている。また、課題案 3 では、障がい者のスポーツ施設の利用促進についてふれられるとよい。日本体育施設協会でも議論が進められていると聞いている。

委員 A 小学生、中学生など子どもの体力向上については、どこに記載があるのか。また、P. 16 の課題案 3 の冒頭には、「公共施設の運営に加えて」といった表現で書き出した方がよいのではないか。スポーツのための場づくりは学校施設の開放だけではないと考える。

委員 G 国が「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を行っており、小平市の子どもの体力についての情報は整理されている。最近の子どもは、握力や投力が低下している傾向にある。

委員 A 全国平均と小平市の平均を比較して、課題が整理できるとよい。

委員長 課題案 4 スポーツの情報発信について、市民委員の方は日ごろの活動から課題を感じることはあるか。

事務局 スポーツ活動をする際に、どのように情報を手に入れているか、どのように情報を共有しているかなどあれば伺いたい。

委員 H 自身は市報をよく見ているが、興味がない人はなかなか目を通す機会は少ないかもしれない。掲示板についても同様に、興味がない人の目には止まりにくいと感じている。イベントを実施する際は、ポスティングやコンビニエンスストアへのポスター掲示など、多くの人の目に止まるように情報発信することを心がけている。

委員 I 体育館等のスポーツ施設から遠くに住んでいる人には、情報がなかなか伝わりにくいと感じている。直接人に声かけをして、口コミでうまく広めることも大事だと感じている。興味のある人にもない人にも、どう伝

えていくかを考えられるとよい。

委員 E KIFA（小平市国際交流協会）の取り組みでも人がなかなか集まらないことがある。情報発信に協力してもらえるキーマンに声かけし、うまく伝えていくことも大事だと思う。

委員長 行動につながる情報発信は人の力が大きいということである。

委員 A スポーツに関わる情報発信は、興味のない人に届きにくいという実態がある。また、健康づくりなどの視点からの情報発信は一定の成果があげられているが、スポーツ単体の情報発信ということであると、行政の頑張りにも限界があるかもしれない。地域の中で情報を広めるということであれば、課題案 5 と組み合わせてもよいかもしれない。

事務局 課題案から基本方針を導く構成となっている。全体の構成も踏まえて検討したい。

続いて、スポーツ振興担当課長が資料 1 を用いて、基本方針の検討資料の第 3 章、第 4 章について説明を行った。

委員長 第 3 章、第 4 章について、何か意見はあるか。

委員 C 第 4 章には、大学等の学校も推進体制のひとつの項目にあげてもよいのではないか。また、P. 15 の課題案 2 には、学校や学生との連携についてもふれられるとよいと感じている。

委員 A P. 22 基本方針 3 の（1）には、オリンピック・パラリンピックに向けて「施設整備に努めます」という表現があるが、実現できることなのか。

事務局 総合体育館の空調設備について、この機会に整備できるとよいと考えている。そのために、事前キャンプ誘致なども視野にいたい。

委員 B オリンピック・パラリンピックのために施設整備を行うと、大会開催期間中に市民が施設を利用できないという課題も出てくる。そういった点もふまえて、計画的に施設整備に取り組めるとよい。

事務局 市の財源が限られる中で、補助金の活用などもふまえて、市民にとって意義のある施設整備に取り組みたい。

委員 B 基本方針 1（1）はほかの方針にも関連することだと考えている。

事務局 内容を再掲する項目も出てくると考えている。基本方針 1 では、誰もがスポーツに親しむために、ライフステージごとに取り組みを考えていきたい。

委員 B 基本方針 2（2）に日本スポーツボランティアネットワークについて記載があるが、小平市では社会福祉協議会もボランティアの発掘、育成、拡充に取り組んできた。日本障がい者スポーツ協会とも連携しており、記載を追加できるとよい。

事務局 ご指摘をふまえて修正する。

委員 F 基本方針 1 の取組項目をみると障がい者を分けているように見える。「誰

- もが」という観点で、(1)と(2)はひとつにまとめてよいと考えている。
- 委員 F P.4で「スポーツ」が指す範囲を広く捉えるということだが、課題の中でそこにつながる表現があるとよい。
- 基本方針1では、スポーツに関心がない人や時間が取れない人に対して、観戦など身近なところでスポーツにふれるきっかけを作ることが記載されているとよい。
- 委員 A 現在改定中の国のスポーツ推進計画についても、「みる」スポーツについての記述はあまり多くない。
- 委員長 国の計画についての情報もふまえていけるとよい。
- 事務局 東京都の計画でもする・みる・ささえるとあるが、最近はほかに、学ぶ、創るといった視点もあると聞いている。
- 委員 A この方針では細かく分類することを先に考えるよりも、現状と課題をふまえて、まずはする・みる・ささえるの視点で考えていければよいのではないか。
- 委員 G アダプテッド・スポーツという言葉はあまり認知度は高くないのではないか。
- 委員長 そのため、P.4で注釈をつけている。
- 委員 B 「ユニバーサルスポーツ」の方が伝わりやすいのではないか。
- 委員 A 「ユニバーサルスポーツ」に該当する小平市独自の取り組みはあるのか。
- 事務局 完全にオリジナルという取り組みは把握していないが、状況に応じてスポーツを楽しむ工夫はなされていると聞く。
- 委員 B 基本方針1と5で、誰もが楽しめるように工夫して仲間づくりや交流につながるスポーツを推進していくという内容が記載できるとよいのではないか。これまでの議論をふまえた構成ができてきていると感じる。
- 委員 F 数値目標は掲げるのか。
- 事務局 4年間の方針であり、定量的な数値目標を掲げることは考えていない。しかし、取り組みは進めていくので定性的に成果がわかるような方針としたいと考えている。
- 委員 A 児童や高齢者に向けた支援・サービスにはどのようなものがあるのか。
- 委員 F ゆうやけ子どもクラブという、主に知的な障害をもつ小学生から高校生までの子どもを対象にして、放課後活動を実施している民間の施設がある。また、小平市卓球連盟と連携して、障がい者への指導にも取り組んでいる。公共施設の利用や取り組みの周知について、より効果的な仕組みがつけられるとよい。
- 委員 A 小平市は全国的に見ても、進んだ取り組みが実施されていると感じる。よりよい環境を実現できるよう、市も支援していけるとよい。
- 委員 J 4年間の方針ということで、ここに記載されている事柄が全て実現できるのかどうか気になる。小平市ならではの、実現できる取り組みが明

確になっているとわかりやすい。

オリンピックの開催に向けてパブリックビューイングなど、具体的な取り組みがあるとわかりやすいが、情報発信、人集めなどの課題もあるため、ピンポイントで改善すべき点を目標に掲げると議論が総花的でなくなる。

事務局 基本方針ということで、今後の方針・方向性を示している。総花的なところはあがるが、ご了承いただきたい。トピックスとしてピンポイントな取り組みの実施に向けた記載は考えていく。

委員D P. 18にある基本方針1の「環境の整備」と基本方針3の「場と機会の整備」は違いがわかりづらい。方針1の「環境」という文言を再考して、スポーツ教室などソフトに関わるものは基本方針1、施設整備などハードに関わることは基本方針3としてはどうか。

基本方針5にある「子どもの頃から継続して～」という内容は基本方針1にあることではないか。

基本方針6は、オリンピックの「気運醸成を図るとともに」という表現にしてはどうか。また、醸成したあと継続していくということまで記載されるとよい。

P. 23の基本方針4にある「市民のニーズ合わせて」とは具体的にどういうことなのか。

事務局 市民のニーズについては、若い世代にはSNS等を活用した情報発信が求められるなど、アンケート等をふまえてニーズが出てくればそれらに対応することを考えて記載している。

委員D そういった具体的な取り組みや手段まで記載できるとよい。

委員長 「様々な媒体を活用した情報発信に取り組む」など、もう少し具体的にふみこめるとよい。

委員E P. 18は基本方針1と3の違いがわかりやすくなるとよい。基本方針1は市民の運動やスポーツに対する意識など、基本方針3はスポーツ施設などハード整備に関わる内容だとわかりやすいのではないかと。基本方針1の「環境」という文言がハードを連想させるのではないかと。

事務局 ご意見を参考に修正する。

委員C P. 1「はじめに」の中で、これまで小平市で築かれてきた運動やスポーツに関わる歴史や独自の取り組み、市の雰囲気がある文章があるとよい。

事務局 ご指摘をふまえ、次回の検討委員会では、アンケート調査の結果と合わせて素案を提示する。

3 閉会

第4回委員会は9月30日の午後3時から健康センター第3・4会議室で行うこととなった。